

ご挨拶



神田外語大学

体育・スポーツセンター／ボランティアセンター専任講師
スポーツ通訳ボランティア推進室長

朴 ジョンヨン

グローバル社会が急速に進行している中、真のグローバル人材求められるのは語学力だけでなく、世界に通用する人間力です。つまり、自ら主体的に考え、責任を持って行動することが重要です。

この講座は、今後多数開催される国際スポーツ大会を見据え、7大学の領域を超えた社会・人文・自然科学分野の幅広いリベラルアーツ（教養教育）を身につけるために役立つカリキュラムになっています。国際大会の意義やボランティアアライメント、グローバル思考等人間のキャパシティを広げるための広い知識や技能を学ぶことができます。この講座を通じて、一人でも多くグローバル人材が輩出されることを願います。



上智大学

学生総務担当副学長
ソフィア オリンピック・パラリンピックプロジェクト責任者

久田 満

上智大学では、東京2020オリンピック・パラリンピックを共生社会の象徴的イベントとして捉え、本学の教育精神である「Men and Women for Others, with Others（他者のために、他者とともに）」をもって、若い世代がその理解をすすめる、東京2020大会のみならず、ボーダレスな共生社会の実現を展望する機会を提供しています。

この度の7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座では、7大学それぞれの特徴を活かした講義・実習・ディスカッション等が展開され、有意義な成果が上がることを期待しております。



東京大学

教授／スポーツ先端科学研究拠点長

石井 直方

スポーツには、個人の健康を促進する効果に加え、オリンピック・パラリンピックなどのイベントに象徴されるように、経済を活性化したり、社会全体を元気にしたりする効果もあります。これらの効果がいかに発揮されれば、スポーツはよりよい未来社会を実現するための強力な手段となるでしょう。

今回の講座が、参加される皆様にとって、スポーツの持つさまざまな面を理解していただくよい機会となることを祈念しています。



早稲田大学

スポーツ科学学術院 教授

村岡 功

オリンピック・パラリンピックは、人種・性別・信条・国籍などを超えた、世界最大のスポーツイベントの1つであり、世界各地の国・地域から多くの選手、関係者および観客が訪れます。56年ぶりに東京で開催されるこの機会に本学としては、トップレベルの競技者養成、コーチ陣等指導者の派遣といった競技的側面への貢献だけでなく、学生ボランティア活動の活性化や各国競技団体等への施設提供など、大会運営への貢献も積極的に進めてまいります。また、大学が有する学術資源を活用した教育・研究的側面においても参加していくことが望ましいと考えており、校友会とも連携して、オール早稲田での事業推進を目指します。



慶應義塾大学

体育研究所 所長・教授

石手 靖

ご承知のように2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。それに向け最近関連したイベントが数多く開催されています。本講座は、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めること、そして、オリンピック・パラリンピックへの理解を深めることを目的としています。

学生時代に自国で開催されるオリンピック・パラリンピックをより身近な大会として迎え、楽しみましょう！



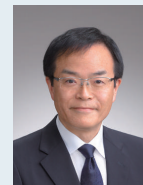
筑波大学

オリンピック・パラリンピック総合推進室長
理事・副学長(教育担当)

清水 諭

スポーツは、国や文化、年齢、性別、障がいを越えて、多くの人々が様々なかたちで楽しむことができます。スポーツ科学や体育学は複合分野ですが、本学の総合大学としての特徴を活かし、医学・医療科学、障害科学、心理学、社会学、芸術学、情報学、工学などが連携し、先進的な学際研究を進めています。

個性や価値観の異なる多くの人々が多様なかたちで関わる可能性に溢れた東京2020オリンピック・パラリンピックは、ダイバーシティを意識し、よりよい共生社会について考えるチャンスです。本学はオリンピック・パラリンピック総合推進室を通じて、21世紀共生社会の実現を先導していきます。



立教大学

副総長／
東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト座長

松尾 哲矢

2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。私たちは1964年に開催された東京大会から今まで、スポーツ文化をどの程度高めることができたでしょうか。2011年に制定されたスポーツ基本法では、スポーツが全ての人の権利であると謳いました。ところが、現在、健康者成人の週1回以上のスポーツ実施率は51.5%と半数を超えていますが、障がい者の実施率は20.8%にとどまっています。

2020年を迎えるにあたって、私たちが考えるべきスポーツ文化の姿とは、スポーツを通して共生社会、多文化社会を豊かにする課題と方法とは何か、7大学の英知を生かし、一緒に考えましょう。

The Sports and Liberal Arts Seminar

7大学のご案内



神田外語大学

主管部署 ボランティアセンター・スポーツ通訳ボランティア推進室

アクセス 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1



慶應義塾大学

主管部署 塾長室

アクセス 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45



上智大学 SOPHIA UNIVERSITY

主管部署 ソフィア オリンピック・パラリンピックプロジェクト

アクセス 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1



筑波大学 University of Tsukuba

主管部署 オリンピック・パラリンピック総合推進室

アクセス 〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1



東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

主管部署 スポーツ先端科学研究拠点

アクセス 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1



立教大学

主管部署 東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト事務局

アクセス 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1



早稲田大学

主管部署 オリンピック・パラリンピック事業推進プロジェクト室

アクセス 〒169-8050 東京都新宿区戸塚町 1-104

※各大学の並びは五十音順です

7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座実行委員会

E-mail 7universities.office@gmail.com

大学領域を越えた、グローバル社会に活躍できる教養人の育成

7大学連携 スポーツ・リベラルアーツ講座

The Sports and Liberal Arts Seminar

開催日程・会場

第1日目: 11/11(日)
会場: 早稲田大学(早稲田キャンパス)

第2日目: 11/17(土)
会場: 上智大学(四谷キャンパス)

第3日目: 11/24(土)
会場: 立教大学(池袋キャンパス)

受講者数

210名(定員)

受講対象





全国の大学生・
大学院生・社会人



Curriculum & Schedule

11.11 SUN 主管大学:早稲田大学・神田外語大学・筑波大学
Theme:東京2020大会の意義と21世紀の教養・教育

受付 (9:30 - 10:00) 【会場:早稲田大学 早稲田キャンパス 国際会議場 井深大記念ホール】

10:00 - 10:10	開講式 【会場:井深大記念ホール】	早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 村岡 功	
10:10 - 11:00	東京オリンピック・パラリンピックを通しての貢献:1964から2020 【会場:井深大記念ホール】	筑波大学 オリンピック・パラリンピック総合推進室長 理事・副学長(教育担当) 清水 諭	
11:10 - 12:00	スポーツを通じた21世紀の教養・教育とグローバル人材 【会場:井深大記念ホール】	神田外語大学 体育・スポーツセンター／ボランティアセンター専任講師 スポーツ通訳ボランティア推進室長 朴 ジョンヨン	
12:10 - 13:00	オリンピック・パラリンピックの価値:その歴史と文化 【会場:井深大記念ホール】	早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 競技スポーツセンター 所長 石井 昌幸	

ランチタイム (13:00 - 14:00)

	Group 1	Group 2
14:00 - 14:50	講義① 多言語を話すことで加速する語学習得とリオオリンピックボランティア体験談 【会場:国際会議場3階第一会議室】 Multilingual Club(ゲスト講師) 新条 正恵	講義② グローバル化と世界の英語モジュール学習 【会場:国際会議場3階第三会議室】 神田外語大学 英米語学科 教授 矢頭 典枝
15:00 - 15:50	講義② グローバル化と世界の英語モジュール学習 【会場:国際会議場3階第三会議室】	講義① 多言語を話すことで加速する語学習得とリオオリンピックボランティア体験談 【会場:国際会議場3階第一会議室】
16:00 - 16:50	グローバル化と音楽コミュニケーション 【会場:井深大記念ホール】	神田外語大学 米国Berklee College of Music卒 全国大連合通訳ボランティア育成セミナー講師 吉原 聡
17:00 - 17:50	オリンピックから学ぶ人間力 【会場:井深大記念ホール】	日本フェンシング協会理事/JOCアスリート委員/ 2008年 北京オリンピック出場 2012年 ロンドンオリンピック男子フルーレ団体銀メダル獲得 文部大臣顕彰、河北文化賞、気仙沼市民栄誉賞等受賞 千田 健太

懇親会 (18:00 - 19:30)

11.17 SAT 主管大学:慶應義塾大学・上智大学
Theme:スポーツとグローバル社会・共生社会

受付 (9:30 - 10:00) 【会場:上智大学 四谷キャンパス 6号館3階302教室】

オリエンテーション (10:00 - 10:10) 【会場:6号館3階302教室】	
10:10 - 11:00	国際スポーツと国際総合競技大会のグローバル社会・共生社会構築機能 【会場:6号館3階302教室】 上智大学 保健体育研究室 教授 ソフィア オリンピック・パラリンピックプロジェクト企画部長 GAISF国際スポーツ団体連合 元理事 師岡 文男
11:10 - 12:00	パラスポーツを通じた共生社会の構築 【会場:6号館3階302教室】 上智大学 上智大学文学部保健体育研究室 講師 日本障害者スキー連盟 パラレルベンスキーチームテクニカルアドバイザー 谷口 広明
12:10 - 13:00	英国代表チームの事前キャンプ受入に向けた取り組み 【会場:6号館3階302教室】 慶應義塾大学 体育研究所 助教 福士 徳文

ランチタイム(参加者交流会実施:参加任意) (13:00 - 14:00)

14:00 - 14:50	上智大学が見てきたパラスポーツ3大会(リオ、平昌、インドネシアアジアパラ) 【会場:6号館3階302教室】 上智大学 外国語学部ポルトガル語学科 教授 子安 昭子 ソフィア オリンピック・パラリンピックプロジェクト事務局(ゲスト講師) 高松 理沙
15:00 - 15:50	慶應義塾とオリンピック 【会場:6号館3階302教室】 慶應義塾大学 体育研究所 教授 石手 靖
16:00 - 16:50	グループディスカッション「東京オリンピック・パラリンピックを共生社会構築のためにどのように活かすか」 【会場:6号館3階302教室】 上智大学 師岡 文男(コーディネーター)

2日目のまとめと3日目の案内(16:50 - 17:00)

11.24 SAT 主管大学:東京大学・立教大学
Theme:21世紀におけるスポーツの多様性

受付 (9:30 - 10:00) 【会場:立教大学 池袋キャンパス 8号館2階8201教室】

オリエンテーション (10:00 - 10:05) 【会場:8号館2階8201教室】	
10:05 - 11:05	パラリンピアンを科学する 【会場:8号館2階8201教室】 東京大学大学院 総合文化研究科 教授 中澤 公孝
11:15 - 12:30	スポーツと共生社会の実現をつなぐ「おもてなし学」 【会場:8号館2階8201教室】 筑波大学 客員教授 江上 いずみ

ランチタイム(12:30 - 13:30)

13:30 - 15:30	共に世界へ! ~チームで挑むパラリンピック~ 【会場:8号館1階8101教室】 立教大学しょうがい学生支援室主催 尾崎 峰穂(パラリンピアン) 中田 崇志(伴走者)
15:40 - 16:40	スポーツの多様性を創るスポーツ栄養科学の最前線 【会場:8号館2階8201教室】 立教大学 コミュニティ福祉学部 教授 杉浦 克己
16:40 - 17:00	閉講式/修了書授与 【会場:8号館2階8201教室】